

調査の概要

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

道民の人口減少などに関する意識調査を実施し、道民の道政に対する意向や意識の的確な把握に努めるとともに、調査結果を政策形成に反映させる。

(2) 調査項目

- I 北海道の人口減少について
- II 道内地域とのつながりや愛着について
- III 居住地について
- IV その他道政運営に関することについて

(3) 調査の方法

- 1) 調査地域 北海道全域
- 2) 調査対象 道内に居住する満 18 歳以上の個人
- 3) 標本数 1,500 サンプル
- 4) 地点数 150 地点
- 5) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- 6) 調査方法 郵送配布、郵送回収及び Web（スマホ）による回答
- 7) 調査期間 令和 2 年 8 月～9 月

(4) 調査実施機関

株式会社インサイト

(5) 調査回収状況

標本数	1,500
有効回答数（率）	771（51.4%）

2. 調査回答者の特性

区分	総数	比率
【総数】	771	100.0%
【性別】		
男性	313	40.6%
女性	434	56.3%
その他・無回答	7	0.9%
未回答	17	2.2%
【年代別】		
18～29歳	41	5.3%
30～39歳	87	11.3%
40～49歳	151	19.6%
50～59歳	127	16.5%
60～69歳	134	17.4%
70歳以上	215	27.9%
未回答	16	2.1%
【世帯構成別】		
1人暮らし	120	15.6%
子育て世帯	156	20.2%
三世帯	14	1.8%
その他	461	59.8%
未回答	20	2.6%
【職種別】		
会社員（正社員）	142	18.4%
会社経営（経営者・役員）	23	3.0%
公務員・教職員	50	6.5%
団体職員	9	1.2%
派遣社員・契約社員	34	4.4%
自営業・自由業	42	5.4%
農林漁業	7	0.9%
専門職（弁護士・税理士・医療関係など）	27	3.5%
パート・アルバイト	103	13.4%
専業主婦・主夫	112	14.5%
学生	12	1.6%
無職	161	20.9%
その他	24	3.1%
未回答	25	3.2%

区分	総数	比率
【地域別】		
道央広域連携地域	494	64.1%
道南連携地域	62	8.0%
道北連携地域	90	11.7%
オホーツク連携地域	39	5.1%
十勝連携地域	47	6.1%
釧路・根室連携地域	39	5.1%
【出身地別】		
札幌市	124	16.1%
札幌市以外の道内市町村	542	70.3%
道外	77	10.0%
海外	1	0.1%
未回答	27	3.5%
【人口規模別】		
札幌市	289	37.5%
人口10万人以上の市	204	26.5%
人口1万人以上10万人未満の市町村	162	21.0%
人口1万人未満の市町村	116	15.0%
【人口減少度】		
減少率2.0%未満	392	50.8%
減少率2.0%以上10.0%未満	249	32.3%
減少率10.0%以上	130	16.9%
【居住年数別】		
1年未満	17	2.2%
1～5年未満	40	5.2%
5～10年未満	39	5.1%
10～20年未満	97	12.6%
20年以上	562	72.9%
未回答	16	2.1%

（注）個々の比率（百分率）は、小数第2位を四捨五入した。このため、各区分における比率の合計が100.0%にならない場合がある。

3. サンプリング

母集団	道内に居住する満 18 歳以上の個人
標本数	1,500 サンプル
地点数	150 地点
抽出方法	層化二段無作為抽出法

(1) 層化

北海道の市町村を次の 6 圏域に分類した。6 圏域で市区町村を人口規模別に「札幌市」、「人口 10 万人以上の市」、「人口 10 万人未満の市」、「町村部」に分類した。人口規模は令和 2 年 5 月 31 日現在の住民基本台帳人口による。

道 央	札幌市	★札幌市
	人口 10 万人以上の市	★苫小牧市、★江別市、★小樽市
	人口 10 万人未満の市	★千歳市、★室蘭市、★岩見沢市、★恵庭市、★北広島市、★石狩市、★登別市、★滝川市、伊達市、美唄市、★深川市、砂川市、★芦別市、★赤平市、★三笠市、夕張市、歌志内市
	町村部	★新ひだか町、余市町、白老町、★当別町、倶知安町、岩内町、浦河町、★栗山町、日高町、長沼町、★洞爺湖町、むかわ町、安平町、南幌町、新十津川町、共和町、新冠町、奈井江町、由仁町、平取町、ニセコ町、蘭越町、えりも町、厚真町、様似町、★豊浦町、仁木町、月形町、沼田町、新篠津村、古平町、京極町、★寿都町、★上砂川町、妹背牛町、黒松内町、壮瞥町、秩父別町、雨竜町、喜茂別町、★真狩村、積丹町、留寿都村、北竜町、浦臼町、泊村、島牧村、赤井川村、神恵内村
道 南	人口 10 万人以上の市	★函館市
	人口 10 万人未満の市	★北斗市
	町村部	七飯町、八雲町、森町、せたな町、江差町、★松前町、★今金町、長万部町、★上ノ国町、知内町、★木古内町、福島町、鹿部町、厚沢部町、乙部町、奥尻町
道 北	人口 10 万人以上の市	★旭川市
	人口 10 万人未満の市	稚内市、★名寄市、★富良野市、留萌市、★士別市
	町村部	★上富良野町、東神楽町、美瑛町、東川町、枝幸町、鷹栖町、羽幌町、当麻町、中富良野町、美深町、増毛町、豊富町、★比布町、浜頓別町、上川町、和寒町、下川町、剣淵町、小平町、苫前町、天塩町、愛別町、猿払村、★遠別町、礼文町、利尻富士町、南富良野町、幌延町、利尻町、中頓別町、中川町、幌加内町、初山別村、占冠村、★音威子府村

オホーツク	人口 10 万人以上の市	★北見市
	人口 10 万人未満の市	★網走市、★紋別市
	町村部	★遠軽町、美幌町、斜里町、湧別町、大空町、★佐呂間町、訓子府町、小清水町、津別町、雄武町、清里町、興部町、★置戸町、滝上町、西興部村
十 勝	人口 10 万人以上の市	★帯広市
	人口 10 万人未満の市	(該当なし)
	町村部	★音更町、幕別町、芽室町、清水町、本別町、足寄町、広尾町、池田町、士幌町、★新得町、★大樹町、鹿追町、★上士幌町、★浦幌町、中札内村、更別村、豊頃町、陸別町
釧路・根室	人口 10 万人以上の市	★釧路市
	人口 10 万人未満の市	★根室市
	町村部	中標津町、★釧路町、別海町、厚岸町、白糖町、標茶町、弟子屈町、浜中町、★標津町、羅臼町、★鶴居村

(2) 標本分配

調査対象は北海道内に居住する満 18 歳以上の個人であるため、令和 2 年 6 月 1 日現在の選挙人名簿登録者数を推定母集団とし、その大きさにより 150 の地点数を比例分配した。なお、各母集団は、住民基本台帳を抽出原簿として採用した。上記表にて★印が 150 の地点を含む市町村である。各市町村で 1 地点となるものについては、乱数を発生させ無作為抽出を行った。

(3) 抽出

① 第 1 次抽出単位となる調査地点（条町丁字名別）の抽出

各層、各市町村に配分した調査地点数分、調査対象地区を抽出した。抽出に際しては、各市町村で条町丁字名の分の乱数を発生させて、調査地点分の無作為抽出を行い、150 地区を抽出した。

② 第 2 次抽出単位となる調査対象者の抽出

対象者の抽出は、調査地点ごとに下記計算式にて抽出間隔を算出し、該当する住民基本台帳から 10 人ずつ等間隔に抽出した。150 の調査地点で 10 人ずつ抽出することで、本調査の標本数の 1500 人を抽出した。

抽出間隔の計算式

$$\text{抽出間隔} = \frac{\text{調査地点推定人口総数}}{10}$$

(4) 抽出結果

圏域、人口規模ごとの標本数、調査地点数は次の通りである。

地域	人口規模	住民基本台帳 人口数 (R2. 5. 31現在)	選挙人登録 名簿人口数 (R2. 6. 1現在)	標本数	地点数
道央広域 連携地域	札幌市	1,947,880	1,679,784	550	55
	人口10万人以上	401,809	348,171	120	12
	人口10万人未満	662,287	575,607	190	19
	町村部	286,080	252,554	80	8
道南 連携地域	人口10万人以上	252,392	222,830	70	7
	人口10万人未満	45,562	38,735	10	1
	町村部	120,483	107,217	40	4
道北 連携地域	人口10万人以上	331,267	287,857	100	10
	人口10万人未満	119,363	104,865	30	3
	町村部	138,413	120,501	40	4
オホーツク 連携地域	人口10万人以上	115,333	100,573	30	3
	人口10万人未満	55,318	48,569	20	2
	町村部	101,920	89,085	30	3
十勝 連携地域	人口10万人以上	164,757	141,847	50	5
	人口10万人未満	0	0	0	0
	町村部	168,561	144,192	50	5
釧路・根室 連携地域	人口10万人以上	165,700	145,236	50	5
	人口10万人未満	24,840	21,901	10	1
	町村部	105,768	91,032	30	3
合計		5,207,733	4,520,556	1500	150

4. 調査地点一覧

抽出市町村、抽出地点は、次の通りである。

地域	人口規模	抽出市町村	抽出地点
道央広域連携地域	札幌市	中央区	北5条西8丁目
			南9条西21丁目
			南1条西7丁目
			南4条西27丁目
			南3条西24丁目
			南14条西15丁目
			南7条西14丁目
		北区	あいの里3条3丁目
			篠路6条8丁目
			新琴似11条12丁目
			太平11条6丁目
			太平3条5丁目
			太平7条6丁目
			東茨戸1条3丁目
			北21条西2丁目
		東区	北10条東14丁目
			北16条東8丁目
			北45条東12丁目
			北32条東18丁目
			北18条東16丁目
			北40条東1丁目
			北30条東9丁目
		白石区	菊水上町1条2丁目
			東札幌1条1丁目
			南郷通15丁目南
			平和通11丁目北
			北郷1条6丁目
		豊平区	本通11丁目南
			月寒東2条9丁目
			水車町5丁目
			西岡2条1丁目
			西岡4条2丁目
福住2条9丁目			
平岸6条13丁目			
南区	澄川6条12丁目		
	川沿1条6丁目		
	藤野5条5丁目		
	簾舞2条3丁目		

地域	人口規模	抽出市町村	抽出地点
道央広域連携地域	札幌市	西区	山の手3条4丁目
			西野9条8丁目
			八軒4条西5丁目
			発寒2条3丁目
			発寒7条8丁目
		厚別区	発寒8条10丁目
			厚別西3条5丁目
			厚別南6丁目
			青葉町10丁目
			青葉町4丁目
		手稲区	新発寒4条5丁目
			富丘3条4丁目
			新発寒1条2丁目
			稲穂4条4丁目
		清田区	里塚2条1丁目
	平岡公園東3丁目		
	北野6条1丁目		
	人口10万人以上	苫小牧市	青葉町2丁目
			寿町1丁目
			新明町2丁目
			北栄町1丁目
			宮前町1丁目
		江別市	文京台東町
			弥生町
			大麻園町
			いずみ野
		小樽市	稲穂1丁目
			新富町
			張碓町
		人口10万人未満	千歳市
花園4丁目			
寿2丁目			
室蘭市	港南町1丁目		
	高砂町2丁目		
岩見沢市	桜木1条7丁目		
	幌向南2条1丁目		
恵庭市	黄金南2丁目		
	住吉町3丁目		
北広島市	共栄町		
	高台町		
石狩市	花川南2条6丁目		
	花畔3条1丁目		

地域	人口規模	抽出市町村	抽出地点
道央広域連携地域	人口10万人未満	登別市	桜木町4丁目
		滝川市	空知町3丁目
		深川市	6条
		芦別市	北七条西3丁目
		赤平市	宮下町
		三笠市	若草町
		新ひだか町	青柳町1丁目
	町村部	当別町	西町
		栗山町	松風4丁目
		洞爺湖町	高砂町
		豊浦町	船見町
		寿都町	歌棄町歌棄
		上砂川町	上砂川町
		真狩村	真狩
道南連携地域	人口10万人以上	函館市	山の手2丁目
			昭和2丁目
			深堀町
			神山1丁目
			尾札部町
			美原4丁目
			富岡町3丁目
	人口10万人未満	北斗市	追分2丁目
	町村部	松前町	福山
		今金町	神丘
上ノ国町		扇石	
木古内町		本町	
道北連携地域	人口10万人以上	旭川市	豊岡二条7丁目
			豊岡五条2丁目
			東光十八条8丁目
			大町一条3丁目
			錦町16丁目
			春光台三条6丁目
			春光台四条5丁目
			永山四条11丁目
			永山十条6丁目
	神楽六条7丁目		
	人口10万人未満	名寄市	14区5丁目
		富良野市	瑞穂町
		士別市	西二条15丁目
	町村部	上富良野町	宮町1丁目
		比布町	中町2丁目
		遠別町	遠別緑町
音威子府村		音威子府	

地域	人口規模	抽出市町村	抽出地点		
オホーツク 連携地域	人口10万人以上	北見市	中央三輪1丁目		
			川東		
	人口10万人未満	町村部	文京町		
			網走市	字二ツ岩	
			紋別市	花園町5丁目	
町村部	遠軽町	西町2丁目			
	佐呂間町	宮前町			
	置戸町	字境野			
十勝 連携地域	人口10万人以上	帯広市	公園東町2丁目		
			西12条北8丁目		
			西23条南3丁目		
			西2条南20丁目		
	町村部	町村部	西8条南24丁目		
			音更町	共栄台東13丁目	
			新得町	西二条南3丁目	
			大樹町	字石坂	
町村部	町村部	上士幌町	字居辺		
		浦幌町	北栄2区		
		釧路・根室 連携地域	人口10万人以上	釧路市	住吉2丁目
					春採6丁目
人口10万人未満	町村部		鳥取北9丁目		
			鶴野東2丁目		
			美原4丁目		
町村部	町村部	根室市	月岡町1丁目		
		釧路町	北見団地3丁目		
		標津町	北一条西3丁目		
町村部	町村部	鶴居村	鶴居東5丁目		

5. この報告書の見方

- (1) 回答率(各回答の百分率)は小数第2位を四捨五入した。このため、個々の比率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 設問説明文にて複数の回答を求めているものには、2つ以上の回答を求めているものと、回答数に制限を設けているものがあり、いずれもその百分率の合計は100.0%を超える場合がある。
- (3) この調査は、標本調査であるため、全数調査の結果(真の値)から一定の範囲内で離れていることがある。これを標本誤差といい、層化二段無作為抽出の場合、信頼度95%のとき次の式で算出される。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N=母集団数
(令和2年5月31日現在住民基本台帳人口数=5,207,733)
n=有効回答数
P=回答比率

上記の式により、有効回答数(n)、及び回答比率(P)ごとに信頼度95%の標本誤差を計算すると、次の通りとなる。

回答比率 (P) 有効回答数 (n)	10%又は 90%程度	20%又は80% 程度	30%又は70% 程度	40%又は60% 程度	50%程度
771	±3.06%	±4.07%	±4.67%	±4.99%	±5.09%
500	±3.79%	±5.06%	±5.80%	±6.20%	±6.32%
300	±4.90%	±6.53%	±7.48%	±8.00%	±8.16%
100	±8.49%	±11.31%	±12.96%	±13.86%	±14.14%

注) この表の見方

Nはnより非常に大きいため、 $\frac{N-n}{N-1} \cong 1$ とみなせるので、 $\frac{N-n}{N-1} = 1$ として計算した。例えば、「ある設問の回答者数(n)が771で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差は95%の信頼度で、±4.99%以内(55.01~64.99%)である」となる。

- (4) 圏域別(道央、道南、道北、オホーツク、十勝、釧路・根室)の該当市町村については、別途「4. 調査地点一覧」(P.10~P.13)に記載している。
- (5) 設問ごとの解説は、回答数の多かった上位3項目を【全体】に記載し、【性別】【年代別】【同居者別】【職種別】【地域別(圏域単位)】【出身地別】【人口規模別】【人口減少度別】【居住年数別】の種別ごとに回答の傾向を記載した。

なお、下記の種別においては、回答者数が少なく標本誤差が大きいことから、それらを除外した記述とした。

【性別】: その他・無回答

【同居者別】: 三世代

【職種別】: 会社経営(経営者・役員)、団体職員、農林漁業、専門職(弁護士・税理士・医療関係など)、学生、その他

【出身地別】: 海外

【居住年数別】: 1年未満

(6) 人口規模別(「札幌市」、「人口10万人以上の市」、「人口1万人以上10万人未満の市町村」、「1万人未満の市町村」)の該当市町村は下記のとおりである。

地域	人口規模	該当市町村
道央広域連携地域	札幌市	札幌市
	人口10万人以上の市	苫小牧市、江別市、小樽市
	人口1万人以上10万人未満の市町村	千歳市、室蘭市、岩見沢市、恵庭市、北広島市、石狩市、登別市、滝川市、深川市、芦別市、栗山町、新ひだか町、当別町
	1万人未満の市町村	赤平市、三笠市、洞爺湖町、豊浦町、寿都町、上砂川町、真狩村
道南連携地域	人口10万人以上の市	函館市
	人口1万人以上10万人未満の市町村	北斗市
	1万人未満の市町村	松前町、今金町、上ノ国町、木古内町
道北連携地域	人口10万人以上の市	旭川市
	人口1万人以上10万人未満の市町村	名寄市、富良野市、士別市、上富良野町
	1万人未満の市町村	比布町、遠別町、音威子府村
連携地域 オホーツク	人口10万人以上の市	北見市
	人口1万人以上10万人未満の市町村	網走市、紋別市、遠軽町
	1万人未満の市町村	佐呂間町、置戸町
十勝連携地域	人口10万人以上の市	帯広市
	人口1万人以上10万人未満の市町村	音更町
	1万人未満の市町村	新得町、大樹町、上士幌町、浦幌町
携地域 釧路・根室連	人口10万人以上の市	釧路市
	人口1万人以上10万人未満の市町村	根室市、釧路町
	1万人未満の市町村	標津町、鶴居村

(住民基本台帳人口数 R2.5.31 現在)

(7) 人口減少度は、「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数」(総務省)のH27.1.1現在とR2.1.1現在の市町村の人口を比較し、減少率が「2.0%未満」、「2.0%以上10.0%未満」、「10.0%以上」で分類した。